公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会

グリーンアルファ

令和8年4月1日発行
第144号

トラスト保全第1号地（さいたま市）

トラスト地保全にかかわる課題 ―動的な均衡を求めて―

トラスト協会は郷土「さいたま」づくりの一端を担うものとして昭和59（1984）年に設立されました。今年度（2026）は設立43年目を迎えることになります。この間、企業・自治体・会員の皆さんをはじめとする多くの県民の方々の理解と支援に支えられてトラスト地の保全が行われてきました。特に現地で直接保全活動にかかわっていただいている、あるいはいただいたボランティアの皆さんには感謝の限りです。

保全活動では、大きな出来事がたびたび起こります。最近の例を取り上げればナラ枯れ騒動です。被害は広範に及びました。対策の打ちにくい事象が次々と現れましたが、献身的なボランティアの皆さんのきめ細かなご尽力によってなんとか収束の方向に向かっていると感じております。

そんな矢先、令和7年3月、埼玉県指定出資法人あり方検討委員会から知事に提言がありました。当協会について「埼玉県の支援なしに当該法人自らが新たな事業を実施するには限界がある。（中略）現在とは異なる事業の実施体制を構築し、当該法人の廃止について検討すべきである。」寝耳に水の事態が生じました。これに対して協会は、県民が主体となって推進していく運動の精神を体現したのがボランティア活動であり、ボランティアスタッフの自主的な活動に制限がかかり、トラスト運動が後退することは許されないこと、むしろ財源を確保し協会の組織体制を強化する必要性を強く主張しました。さらに令和7年10月にトラスト運動・基金のあり方検討委員会の報告書が取りまとめられました。内容は保全地の保全方針の策定、広報強化、インフラの整備、民間連携、さらに令和7年3月の提言に対しては、事務局について民間人材の活用・担い手の確保のため多様な主体が参画する仕組みを検討しトラスト運動を推進していくというものでした。

いずれにしても今後大きな変革が予想されます。組織の運営も雑木林の保全に似た要素があるように感じます。自然森を放置するとどうなるか。放置すれば遷移し暗い「極相林」へ向かいます。里山もまた撹乱を受け更新し少しずつ姿を変えていきます。組織も放置して安定するものではありません。常に変動があることを意識しつつ動的な均衡を求めていく必要があります。ボランティアの皆さんに焦点を当てれば高齢化の課題があります。後継者が集められないことや力の活動には限界があります。大きな課題です。ひとりひとりの個性、動機の幅、得手不得手、役割分配の適不適等の違いがあります。そして年齢、後継者の獲得には力を入れなければなりません。バランスを考えながら解決策を探らなければなりません。一方では普段の活動に課題を感じるなら、とりあえず身近かな課題を優先する考え方もあります。例えば快適な保全活動をするための来月の策を見直してみるとか、みなさんで探ってみてはと思います。固定でなく動的安定です。室内ボランティア活動も考えられませんか。各号地のできごとと想いについて記憶に残る限りを拾い集めてみるのはいかがでしょう。人が変わっても後に続くみなさんへ何かを伝えることができると思います。

（公財）さいたま緑のトラスト協会
副理事長　牧野　彰吾

第26回さいたま緑のトラスト写真・動画コンクール結果発表

令和7年8月29日～12月1日までの応募期間で郵送やInstagramなどによる写真ならびに動画は、484点の応募がありました。
審査の結果、27点の入賞作品を決定しました。詳しくは、埼玉県みどり自然課ホームページ又は協会ホームページで御覧ください。
写真の入賞作品は、みどり自然課公式Instagramで公開しています。
動画の入賞作品は、YouTubeチャンネル「さいたま緑のトラスト運動～緑のトラスト保全地～」で御覧いただけます。 YouTubeチャンネル➡

トラスト保全地の部

最優秀賞（写真 郵送部門）

「おはよう　うき野の里」
KORO
浮野の里（10号地）

最優秀賞（写真 デジタル部門）

「小さな発見」
光田　あい
高尾宮岡の景観地（8号地）

身近な緑の部

最優秀賞（写真 郵送部門）

「夕刻の彩」
橋本　英男（川越市）

最優秀賞（写真 デジタル部門）

「ひまわりとシャボン玉」
柴田　恵里菜（本庄市）

トラスト保全地の部（動画）

最優秀賞

「武蔵嵐山渓谷を訪ねて」
山中　敏郎
武蔵嵐山渓谷周辺樹林地（3号地）

トラスト保全地の部

入賞	氏名	作品名	撮影場所
写真　郵送部門			
優秀賞	田中　淳二	秋の徨、誰そ彼（たそがれ）	武蔵嵐山渓谷周辺樹林地（3号地）
優良賞	沖舘　宏	秋の渓谷	武蔵嵐山渓谷周辺樹林地（3号地）
〃	山中　敏郎	霧の中	浮野の里（10号地）
〃	横須賀　洋	初夏の朝	浮野の里（10号地）
佳作	野口　浩一	朝日を浴びて	高尾宮岡の景観地（8号地）
〃	三宅　清儀	青春の小径	見沼田圃周辺斜面林（1号地）
〃	堀之内　稔	脱了散歩	山崎山の雑木林（5号地）
〃	山崎　政吉	光のシャワー	見沼田圃周辺斜面林（1号地）
写真　デジタル部門			
優秀賞	吉岡　賢一	ハイキング日和	武蔵嵐山渓谷周辺樹林地（3号地）
優良賞	森川　陽子	守り神	見沼田圃周辺斜面林（1号地）
〃	前島　よし子	無風	武蔵嵐山渓谷周辺樹林地（3号地）

身近な緑の部

入賞	氏名	作品名	撮影場所
写真　郵送部門			
優秀賞	渡辺　邦典	春のささやき	鴻巣市
優良賞	堀越　力男	見沼の朝焼	さいたま市
〃	柴崎　治	おもしろい葉っぱだね～!!	久喜市
〃	熊場　歩	秋山の山頂で	東松山市
佳作	谷山　まりあ	畦田の秋	横瀬町
〃	十方　淳美	自然とともに、大きくなあれ!	新座市
〃	田中　淳二	風と語る午後	長瀞町
〃	光田　あい	笑顔実る!	寄居町
写真　デジタル部門			
優秀賞	櫻井　智里	夕凪のかがみ	行田市
優良賞	aira_photos	寄居町の風布の紅葉始め	吉見町
〃	平山　泰広	帰り道で出会えた美しい夏の夕景	さいたま市

（敬称略）

さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者
（5万円以上、令和7年12月から令和8年2月）

スバル用品株式会社　［敬称略］

新しく会員になられた方々
（令和7年12月から令和8年2月）

【個人】2人　【家族】2家族（8名）
【法人】株式会社 森田エンタープライズ　ベーカリー コージー　［敬称略］
<会員数（2月末現在）>1353人・団体

トラスト保全第14号地

ドングリぼうや

保全地紀行

藤久保の平地林
世界農業遺産を繋ぐ平地林

三芳町は2023年に近隣自治体と共に340年間続けられている堆肥を使う循環型農業が世界農業遺産に認定されました。ここは古くから残る平地林で循環型農業の一端を担っています。林は堆肥にできるコナラやクヌギ、シデ、アオダモなどの落ち葉が毎年大量に産出します。私たちの活動は一年かけて林床を落葉掃きができる状態にするため、刈込隊という編成された専門チームが、月2回の刈込作業と伐採を実施し、月1回の定例会でボランティアメンバーが枝拾いや刈取った草の収集・搬出を実施しております。刈り込まれた林床では5月頃からキンランやギンラン、サイハイランが咲き誇り、他にもジュウニヒトエ、フタリシズカ、ヤマユリなどが林を彩ります。ここでは散策路が整備されており、貴重な花の保護のために林内への立ち入りは規制されています。最近は、散策路に「花の看板」を設置して、訪れた方に楽しんでもらっています。また、力を入れ取組んでいる活動は整備した林の活用です。一つは伐採した木を使ったシイタケ栽培、次が子供を対象にした自然観察会の定期的な開催です。ノコギリ体験、シイタケホダギつくり、冬は落ち葉掃き体験などを継続的に実施していく予定です。整備・保全活動を担っているボランティアの方は年齢層も広く町外の方も多数参加していただいております。今後も、皆様のご期待に応えられるような活動を続けていきます。

14号地　代表　原　芳彦

トラスト昆虫図鑑 25

ナナフシ目ナナフシ科

ナナフシモドキ（Ramulus Mikado）

塘（トモ）　久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫大好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

多くの昆虫図鑑でこの虫は擬態の名人として紹介されています。たしかに昆虫の世界には自分自身を植物などに似せて身を守る擬態の名人がたくさんいますが、中でもこの虫は極めつきの名人ですね。身体の形が木の枝にそっくりなのはもちろん、風に揺れる枝のように身体をゆらりゆらりとゆっくり動かす動作は本物の細い木の枝そっくり。さらに念の入ったことにこの虫の卵は草の種にそっくりです。雑木林や林縁の葉の上、木の幹の上などで見られ、サクラやコナラなど色々な植物の葉を食べます。ナナフシモドキなんていう虫は見たことはないよ、と言う人もいるかもしれませんが、身近に暮らす昆虫でほぼ全てのトラスト保全地で記録されています。ですから見つからないのはかくれんぼ上手のこの虫に騙されているからかもしれませんよ。

成虫になっても翅がないので幼虫との区別がやっかいですが、幼虫は脚が縞模様です。春の今頃の時期は縞模様の目立つ幼虫も見つかるかもしれませんね。

ところでこの虫の名前にはなぜモドキとついているのでしょうか？“モドキとは似て非なること”という意味ですがこの虫はナナフシそのものです。それならなぜ？一説によるとナナフシとは七つの節という意味で節くれだった樹木の枝のこと。この虫はその節くれだった枝に似ているけれど本物の枝ではないので七節モドキとなったとか。

（塘　久夫）

幹上のナナフシモドキ成虫

葉の裏のナナフシモドキ幼虫

開催報告

トラスト2号地

狭山湖トラスト樹林地の冬鳥観察会

今年は18名の参加者を２班に分けて、集合場所の西武球場前駅から２号地、２号地から狭山湖にかけての行程をボランティアスタッフの丁寧な説明を聞きながらの冬鳥観察会を行いました。天候にも恵まれ、声だけのものも含め40種類の野鳥を確認しました。参加者の中から３名の方が新規会員の申込があり、トラスト運動のご理解・ご協力を得ることができました。

トラスト3号地

トラスト地散策とシイタケのコマ打ちを楽しもう

今年の参加者は13名。先ずは午前中遠山口駐車場から嵐山渓谷の散策を開始。牧野副理事長より３号地の地形は長瀞と共通する結晶岩があり、その特徴の話や、クヌギとコナラの見分け方、植物の葉っぱの色の違いなど説明を受けながら自然観察を行いました。午後は用意されたホダギにシイタケ菌のコマ打ちや竹細工を体験。ボランティアスタッフ皆さん、作業のお手伝いありがとうございました。天候にも恵まれ、参加者にはご満足していただきました。

ご案内 会員優待施設の招待券プレゼント

（公財）埼玉県公園緑地協会様のご厚意で、①**埼玉県こども動物自然公園（東松山市）**②**さいたま水族館（羽生市）**③**狭山市立智光山公園こども動物園**の３施設について、入園招待券を２枚１組でそれぞれ５組プレゼントします。

ご希望の方は、４月10日（金）までに①～③のいずれの希望を明記のうえ、さいたま緑のトラスト協会事務局へメール又は電話でお申込みください。なお、当選者の発表は招待券の発送をもって代えさせていただきます。

「グリーンアルファ」発行回数変更のお知らせ

広報紙「グリーンアルファ」につきましては、年４回（4/1、7/1、10/1、1/1）発行してまいりましたが、事業の見直しの一環として今後は**年３回（4/1、8/1、12/1）の発行に変更**させていただきます。

引き続き広報紙「グリーンアルファ」の内容の充実を図り、さいたま緑のトラスト運動の推進に努めてまいります。

公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話▶ 048(824)3661　ファックス▶ 048(832)0292
ホームページ▶ http://www.saitama-greenerytrust.com
メール▶ main@saitama-greenerytrust.com

当協会に御寄附をいただいた方については、税額控除の特例を受けられます。
詳しくはHP又は税務署へお尋ねください。

●会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
	永年(一括納入)	1人	15,000円
家族		1家族	3,000円
法人		1口	10,000円

※会費はインターネットバンキングからの振込もできます

ミックス
紙と責任ある自然管理を支えています
FSC® C008422

トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。